

昭和二十四年六月、(重訂)省特別授予認許法第四五三號
大正五年四月六日(舊)三民郵傳部認可 昭和二十四年五月二十五日印刷納本 (毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 三 十 三 卷 第 二 冊

第 三 百 八 十 三 號

昭 和 二 十 四 年 六 月 一 日 發 行

アリストテレス存在論……………文學士 岡野留次郎
の基礎構造について……………

カント美學の一考察……………文學士 山本万治郎

危機神學の生成と……………文學士 樋元和一
その展開(承前)……………
——近世前期フランス精神史論——

京 都 大 學 文 學 部 內 部
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回 研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回 『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名) 京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四百二十圓、前後二期ニ分テテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	有賀鐵太郎
文學博士	臼井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	岡原太郎
文學士	高田三郎
文學士	武内義範
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學博士	久松眞一
文學士	松尾義海
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

彙報

ないと確信する。然し眞の教會は別な證據を持つ。即ち神の教戒への服従とよくしつらへられた學識體の證據である。」(ibid., p. 48, *Epître du Roi de France*) からも充分うかがはれるやうに決して無教會主義を説いたのではなく、此の點は更に、「特に夫人よ、神の子がその血によつて奉獻せる如き教會の地位を變じようなど考へてはならない。何故なれば之は凡ての膝がその前で屈する如きもの故」と説いてゐる處からも明瞭である。(ibid., p. 428, *Lettre à la Duchesse de Ferrare*) 即ちホルも説いてゐる如く彼はカトリックでは祖傳のまゝに打委かされた目に見える教會と神の國を區別し、前者を神の國へ織込まれる手段として絶對必要視した。彼は此の意味に於て確信式 (*Konfirmation*) を作出したと見てよゝ (Holl, *Luther und Calvin*, S. 18) 要するにカルヴァンはダヴィドの説いた處を信奉して神の殿堂を以て信者と共に純粹に神を敬ひ信を告白し、祈り、聖餐禮に加はる自由と解し、かゝる自由の果される場所として教會を意味付けたのであり、それが教會の自主獨立を重んじ、監督制度を拒み、國家の干渉を排斥する牧師選舉制度として具體化したのである。

倫理學研究會

五月七日 午後一時 於 第二演習室
キエルケゴールに於ける實存の問題

山村直資、氏

寄贈圖書

植田清次著 プラダグマティズム

東京白揚社

定價 三百圓

前 號 目 次

カントに於ける倫理と宗教の關係に就て(完)	文學博士 島 芳 夫
危機神學の生成とその展開 — 迎世前朝フランス精神史論 —	文學士 樋 元 和 一
宗教改革期ドイツの大學 — 「大學の理念」の史的展開(四) —	文學士 森 昭

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編集事務以外ノ一切)ノ事務ハ弘文堂内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帯封ニ「前金切」ノ印章捺捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編集ニ關スル通信及紹介・新刊書・奇贈雜誌等ハ几テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓御送付下され度候

昭和二十四年五月二十五日印刷納本
昭和二十四年六月一日發行

編集人 京都大學文學部内

石代表者

小田武

發行人 久保井理津男

東京都千代田神田駿河臺四ノ四

印刷人 鈴鹿幸保

京都市田中西浦町四〇

印刷所 弘文堂印刷部

京都市田中西浦町四〇

發行所 株式會社 弘文堂

東京都千代田神田駿河臺四ノ四

定 價		冊 數	定 價	郵 稅
一冊	三十五圓	金三圓		
六冊(前金)	二百十圓	金十八圓		
全冊(前金)	四百二十圓	金三十六圓		

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

大正五年四月六日
第三種郵便物認可

昭和二十四年五月二十五日印刷
昭和二十四年六月一日發行
（每月一回發行）

哲 學 研 究 第 三 百 八 十 三 號

地方賣價三十七圓
定 價 三 十 五 圓

（郵稅金三四）